

給食だより



令和6年1月

おうちのひとといっしょに読もう

佐賀市川副学校給食センター

TEL 0952-45-0374

新年あけましておめでとうございます。

寒い時期ですが、よく食べ、よく体を動かして、夜はしっかり休みましょう。健やかな体と心で新しい年もすくすく

成長してほしいと思います。今年もおいしく安全な給食を作っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



「おいしいな！」
笑顔で囲む
楽しい食卓



朝ごはん、
食べて始まる
天気な一日



目いっぱい
感謝を示そう
食事のあいさつ



健康をつくる
食事、運動、
よい睡眠



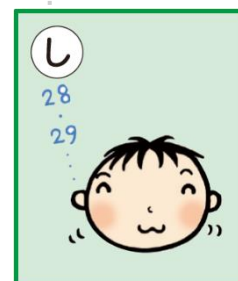
伝統を
受け継ぎ愛そう
ぼくらの
ふるさと



「まごわ(は)
やさしい」
和の食材は
健康の友



とりすぎは
注意だ
さとう、塩
あじう



しっかりと
よくかみ食べよう
目標ひと口30回



うんち見て、
しっかり確認
自分の健康



手洗いを
よくしてウイルス
シャットアウト

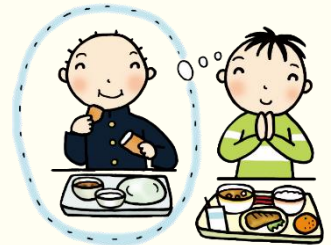
あけまして
おめでとう

しんしゅんしよくいく
新春食育かるた

ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん 全国学校給食週間です! 1月24日~30日

明治22(1889)年に山形県鶴岡市にあった私立忠愛小学校でお弁当を持ってこれない貧しい家庭の子どもたちのために社会事業として昼食を出したのが日本の学校給食のはじまりです。その後、戦争により一時中断されましたが、戦後、日本の子どもたちのためにユニセフから小麦粉や脱脂粉乳(スキムミルク)が寄贈され、再び給食がはじまりました。昭和21(1946)年12月24日のことです。この日が今に続く学校給食の誕生日になりますが、多くの学校が冬休みに重なるため、1ヵ月延ばして1月24日を「給食記念日」とし、30日までの1週間を「全国学校給食週間」にしています。戦後、学校給食は学校で行う教育の1つに位置づけられました。健康の保持・増進だけでなく、将来、健康的で望ましい食生活を送るための手本となり、また学校での学びを深めるための生きた教材としての活用も積極的に行われています。

みんなで協力し助け合うことの大切さを学び、自然の恵みや人々のはたらきに感謝し、ふるさとやさまざまな地域の食文化を理解して未来に伝える、そして食を通して社会をよく知るといった目標が現在、学校給食には課せられています。子どもたちの健やかな体と豊かな心を育むための力となれることを目指しています。



食事のあいさつは心をこめて

私たちは、食べないと生きていくことができません。食事のあいさつは、生きるために食べ物の命をいただくことや、

食事を準備して下さった方々の心づかいや苦勞への感謝を伝えることばです。

命にむけて

いただきます



山のてっぺんを「頂(いただき)」といいます。昔、大切なものをもらうとき、一度頭の上に掲げ、かきこまて頂戴したことから生まれた言葉といわれます。さらに食事で動植物の命を「いただいて」いること、食事ができることへの感謝の気持ちも込められています。

人にむけて

ごちそうさま



「ちそう(馳走)とは、「走り回る」という意味です。昔、大切な人をもてなすために遠くまで駆け回り、食べ物を集めてくれた人への感謝を表す言葉です。毎日食事ができるかには、さまざまな人の仕事や協力があります。そのことに感謝してあいさつをしましょう。